

2016年8月8日

各位

ブリストル・マイヤーズ スクイブ社
未治療の進行期非小細胞肺癌患者を対象とした
オプジーボ®（一般名：ニボルマブ）の第Ⅲ相試験の重要な結果を発表

ブリストル・マイヤーズ スクイブ社（NYSE：BMY/本社：米国ニューヨーク/CEO：ジョバンニ・カフォリオ）は、8月5日（現地時間）にPD-L1発現レベルが5%以上の未治療の進行期非小細胞肺癌を対象としたオプジーボ（ニボルマブ）の単剤療法を評価する試験のCheckMate-026試験（国際共同治験）において主要評価項目である無増悪生存期間を達成できなかったことを発表しました。以下にブリストル・マイヤーズ スクイブ社が発表したプレスリリースのホームページリンクを掲載していますので、ご参照ください（和訳版は改めて掲示いたします）。

<http://investor.bms.com/investors/news-and-events/press-releases/press-release-details/2016/Bristol-Myers-Squibb-Announces-Top-Line-Results-from-CheckMate--026-a-Phase-3-Study-of-Opdivo-nivolumab-in-Treatment-Nave-Patients-with-Advanced-Non-Small-Cell-Lung-Cancer/default.aspx>

なお、本件による当社の平成29年3月期の業績への影響はございません。

現在、海外においては、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が、膠芽腫、小細胞肺癌、尿路上皮がん、肝細胞がん、食道がん、大腸がん、固形がん（トリプルネガティブ乳がん、胃がん、膵がん）、血液がんなどのがん腫を対象とし、オプジーボ単剤療法または他の治療薬との併用療法による臨床試験を実施中です。

一方、日本では、小野薬品工業株式会社が2014年9月に根治切除不能な悪性黒色腫の治療薬として発売しました。2015年12月には、切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に対する承認を取得しました。また、腎細胞がん、ホジキンリンパ腫および頭頸部がんについても承認申請済みであり、胃がん、食道がん、小細胞肺癌、肝細胞がん、膠芽腫、尿路上皮がん、卵巣がん、悪性胸膜中皮腫、胆道がんなどを対象とした臨床試験を実施中です。

日本では小野薬品工業株式会社はブリストル・マイヤーズ スクイブ社（およびその日本法人であるブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社）とがん患者さん向けに複数のがん免疫療法薬の共同開発、共同商業化、共同販売促進を含む戦略的提携関係を結んでいます。

以上

<本件に関する問い合わせ先>
小野薬品工業株式会社 広報部
TEL：06-6263-5670
FAX：06-6263-2950